

## 薩南諸島における伝承的薬用及び毒性植物調査報告 そのII. 奄美大島, 加計呂麻島, 請島, 与路島, 徳 之島, 沖永良部島, 与論島, 喜界島

著者	東 四郎, 阿部 美紀子, 緒方 信一, 飛田 洋, 横田 和登
雑誌名	鹿児島大学理学部紀要. 地学・生物学
巻	9
ページ	129-150
別言語のタイトル	Traditional Medicinal and Poisonous Plants in the Satsunan Islands Part II. Amamioshima, Kakeromajima, Ukejima, Yorojima, Tokunoshima, Okierabujima, Yoronjima and Kikaijima
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10232/00009955">http://hdl.handle.net/10232/00009955</a>

## 薩南諸島における伝承的薬用及び毒性植物調査報告

その II. 奄美大島, 加計呂麻島, 請島, 与路島, 徳之島,  
沖永良部島, 与論島, 喜界島

東 四郎\*・阿部美紀子\*・緒方 信一\*\*  
飛田 洋\*\*\*・横田 和登\*\*\*\*

(1976年9月30日受理)

Traditional Medicinal and Poisonous Plants  
in the Satsunan Islands.

Part II. Amamioshima, Kakeromajima, Ukejima, Yorojima,  
Tokunoshima, Okierabujima, Yoronjima and Kikaijima

Shiro HIGASHI\*, Mikiko ABE\*, Shinichi OGATA\*\*,  
Hiroshi TOBITA\*\*\* and Kazunori YOKOTA\*\*\*\*

### Abstract

This report presents distribution and traditional way of utilization of the medicinal and poisonous plants, with their local names in the Amami Province, the southern part of the Satsunan Islands, including Amamioshima, Kakeromajima, Ukejima, Yorojima, Tokunoshima, Okierabujima, Yoronjima and Kikaijima.

Flora in these islands clearly differs from that in the Kumage and Tokara Provinces, the northern part of the Satsunan Islands, reported by Higashi et al. (1975): it is noted here that some peculiarities in traditional utilization of plants were found in the Amami Province.

### 緒 言

第一報に続き、薩南諸島の奄美大島、加計呂麻島、請島、与路島、徳之島、沖永良部島、与論島、喜界島について1974年～1975年にかけて各島を巡り、伝承生薬及び毒性植物についての聴聞を行い、その利用方法、及び有効性について抗菌成分の抽出を念頭に置きつつ集録した。第一報<sup>(1)</sup>で述べた屋久島、種子島、トカラ列島では本土に近似な植物が多く、方名、利用法についても本土と共通したものが多くみられたが、本報告に載せた各島は植物分布の上から沖繩諸島と共に日本列島最古の植物相を有する特殊な地域であるため、本土よりむしろ沖繩の影響を強くうけており、従って方名、利用法などについても沖繩諸島に共通するものが多く見られた。

\* 鹿児島大学理学部生物学科 Department of Biology, Faculty of Science, Kagoshima University, Kagoshima.

\*\* 北九州市役所公害課勤務 Section of Environmental Pollution Control, Kitakyushu City Office, Fukuoka.

\*\*\* 宮崎県北諸方郡山之口中学校教諭 Yamanokuchi Junior High School, Kitamorokata, Miyazaki.

\*\*\*\* 宮崎県立日向高等学校教諭 Hiyuga Senior High School, Miyazaki.

本報告のための調査方法、記載方式については第一報に準ずる。

### 調 査 結 果

#### Polypodiaceae ウラボシ科

*Lemmaphyllum microphyllum* Presl (マメツタ)

徳之島 伊仙町, クッチャビ (汁一切傷に用いる)。

#### Cycadaceae ソテツ科

*Cycas revoluta* Thunb. (ソテツ)

奄美大島 笠利町赤木名 (芽の綿毛一切傷に用いる)。竜郷村竜郷 (実を砕いて切傷に用いる)。竜郷村円 (芽の綿毛一止血。実一傷が化膿しそうな時用いる)。大和村津名久 (実一止血に用いる)。大和村名音 (実一切傷)。瀬戸内町手安, アカナリ (止血)。瀬戸内町嘉徳 (実を砕いて切傷に用いる)。瀬戸内町管鈍 (実を砕いて切傷に用いる)。瀬戸内町久慈 (実一牛に食べさせると死ぬ)。瀬戸内阿木名 (実は毒)。住用村山間 (実一切傷)。

加計呂麻島 勝能 (実を焼いて切傷に用いる)。

請 島 請阿室 (実を砕いて切傷に用いる。幹のデンプン一血圧降下)。

喜界島 小野津 (葉一古釘を踏みぬいた時, 用いる)。大朝戸 (実一切傷)。先内 (実一切傷)。島中 (実の汁一皮膚病)。西目 (葉は毒)。志戸桶 (実, 茎を食用にする)。

徳之島 徳之島町 (実一切傷, 火傷, ヒエ抜き)。伊仙町 (実をつぶして皮膚病に用いる。実を牛に食べさせると死ぬ)。天城町 (実一ヒエ抜き, 毒)。

沖永良部島 田皆 (実一切傷に湿布, 牛馬の出血の時用いる)。永峰 (実一切傷)。玉城 (実一切傷, 皮膚病, 毒)。小米 (実一皮膚病, 毒)。手々知名 (実一毒)。瀬名 (実, 茎一食用とする)。

与論島 瀬良座 (実一毒)。叶 (実一毒)。曾木名 (実一毒)。那間 (実一毒)。立長 (実一毒)。

#### Podocarpaceae マキ科

*Podocarpus macrophylla* D. Don (イヌマキ)

奄美大島 瀬戸内町清水, ヒトツバ (実一食用)。

与路島 マキ (白蟻がつかない)。

#### Pinaceae マツ科

*Pinus thunbergii* Parl. (クロマツ)

与路島 マツ (木灰一火傷につける)。

喜界島 荒木 (万病)。

与論島 那間 (葉一酒と熱して湿布, ヒエ抜き)。瀬良座 (葉の汁を飲む一打身)。

#### Saururaceae ドクダミ科

*Houttuynia cordata* Thunb. (ドクダミ)

奄美大島 住用村山間 (ヒエ抜き。根を煎飲一腎臓病)。

与路島 (煎飲一胃腸病)。

喜界島 花良治 (ヒエ抜き)。島中 (毒消し)。

与論島 曾木名 (葉の汁をつける一鼻の病気)。

**Piperaceae** コシヨウ科

*Piper kadzura* Ohwi (フウトウカズラ)

与論島 瀬良座 (皮膚病)。

*Piper nigrum* L. (コシヨウ)

与論島 叶, アウグシ (胃腸病)。

**Myricaceae** ヤマモモ科

*Myrica rubra* Sieb. et Zucc. (ヤマモモ)

加計呂麻島 諸数 (樹皮一魚毒)。

**Fagaceae** ブナ科

*Shiia cuspidata* Makino (ツブラジイ)

徳之島 伊仙町, シイ (実一古傷を呼ぶといういい伝えがある。病み上がりには食べるな)。

**Moraceae** クワ科

*Ficus wightiana* Wall. (アコウ)

喜界島 荒木 (汁一皮膚病の吸出し)。

*Morus bombycis* Koidz. (クワ)

加計呂麻島 押角 (根を煎飲一血圧降下)。

喜界島 花良治 (葉の汁を塗付一皮膚病)。早町 (若芽一流産予防)。荒木 (樹皮一家畜の病気に用いる)。

沖永良部島 玉城 (葉一眼病)。

与論島 東区 (三味線の材にする)。

*Ficus pumila* L. (オオイタビ)

奄美大島 瀬戸内町清水, ミンチャブ (食用)。

与論島 立長, シインチャビ, カズラ (肝臓, 腎臓病に煎飲)。

*Morus australis* Poir. (シマグワ)

与論島 立長 (根一フィラリア)。

**Urticaceae** イラクサ科

*Boehmeria nivea* Gaud. (カラムシ)

奄美大島 竜郷村円, マエグラ (根一ヒエ抜き)。

喜界島 花良治 (皮一化膿止め)。

**Aristolochiaceae** ウマノスズクサ科

*Asarum celsum* Maekawa (ミヤビカンアオイ)

奄美大島 大和村名音, ヤマコンブ (煎飲一血圧降下)。

**Polygonaceae** タデ科

*Polygonum thunbergii* Sieb. et Zucc. (ミゾソバ)

喜界島 赤連 (もんで切傷につける)。

*Polygonum chinense* L. var. *umbellatum* Makino (ツルソバ)

奄美大島 竜郷村円, セミガラ (葉を焼いて患部に貼る一皮膚病)。

喜 界 島 先内, アマチュンサー (葉一止血)。

沖永良部島 和泊町, シーミグサ (皮膚病)。瀬名, シーミグサ (豚, 山羊が好食)。知名, シーミグサ (牛, 馬が食べるとやせる)。田皆, シメクサ (家畜に毒)。

*Rumex acetosa* L. (スイバ)

与 論 島 立長, コーヒル (根をすりおろしてつける一火傷)。

*Rumex japonicus* Houttuyn (ギシギシ)

沖永良部島 田皆, ギーギーグサ (根をすりおろして湿布一皮膚病)。

与 論 島 東区, コウヒル (食用)。

*Polygonum blumei* Meisn. (イヌタデ)

奄美大島 瀬戸内町篠川, タデ (魚毒)。

喜 界 島 城久, タデ (山羊が食べると流産する)。小野津, タデ (家畜に毒)。

徳之島 伊仙町, タデ, サデ, イカリソウ (魚毒)。徳之島町, タデ (魚毒)。亀徳町, タレ (魚毒)。

沖永良部島 田皆, タデ (魚毒)。瀬名, タディ (魚毒)。知名, タデ (魚毒)。手々知名, タデ (魚毒)。余田, サデ (魚毒)。

*Polygonum conspicuum* Nakai (サクラタデ)

喜 界 島 大朝戸, タディ (家畜に毒)。

#### Amaranthaceae ヒユ科

*Achyranthes japonica* Nakai (イノコズチ)

喜 界 島 志戸桶, マシキダンセ (新葉一皮膚皮)。

#### Phytolaccaceae ヤマゴボウ科

*Phytolacca esculenta* Van Houtt. (ヤマゴボウ)

加計呂麻島 諸数 (腎臓病)。

#### Caryophyllaceae ナデシコ科

*Stellaria aquatica* Scop. (ウシハコベ)

沖永良部島 永峰, ミズナ (食用)。瀬名, ミズナ (新芽一食用)。下平川, フクビユ (食用)。

#### Magnoliaceae モクレン科

*Kadsura japonica* Dunal (サネカズラ)

与 路 島 シベカズラ (用途不明)。

#### Ranunculaceae キンボウゲ科

*Ranunculus glaber* Makino (キツネノボタン)

徳之島 伊仙町 (家畜に毒)。

#### Lauraceae クスノキ科

*Cinnamomum camphora* Sieb. (クスノキ)

奄美大島 住用村山間 (根一関節炎)。

与 路 島 (葉, ヨモギ, スイカズラ等と共に用いる一ハブ咬傷)。

#### Cruciferae アブラナ科

*Brassica oleracea* L. var. *capitata* L. (タマナ, キャベツ)

沖永良部島 小米 (下葉一肝臓病)。

**Crassulaceae** ベンケイソウ科*Kalanchoe spathulata* DC. (リュウキュウベンケイ)

奄美大島 瀬戸内町蘇刈, オランダグサ (皮膚病)。瀬戸内町清水, オランダグサ (山羊に毒)。

与論島 東区, ドンブイグサ (家畜に毒)。瀬良座, ドンブイマチ (家畜に毒)。古里, ドンブイマチ (家畜に毒)。

**Saxifragaceae** ユキノシタ科*Saxifraga stolonifera* Meerb. (ユキノシタ)

喜界島 島中 (耳病)。

沖永良部島 永峰 (皮膚病)。

**Pittosporaceae** トベラ科*Pittosporum tobira* Ait. (トベラ)

奄美大島 笠利町赤木名, トブラギ (山羊が食す)。瀬戸内町清水, トブラギ (山羊の食料, 魔除け)。瀬戸内町蘇刈, トブラギ (宗教行事に使用)。竜郷村竜郷, トブラギ (魔除け)。名瀬市根瀬部, トブラギ (魔除け)。

喜界島 城久 (家畜飼料)。

徳之島 伊仙町 (病魔除け)。

**Rosaceae** バラ科*Prunus persica* Batsch. (モモ)

徳之島 伊仙町 (葉を煎飲—皮膚病)。

*Pyrus serotina* Rehder (ナシ)

与論島 叶 (葉の青汁をつける—耳の病気)。

*Eriobotrya japonica* Lindl. (ビワ)

喜界島 荒木 (葉—家畜が病気の時)。

与論島 瀬良座 (煎飲—腎臓病)。立長 (葉を煎飲—腎臓病)。

*Kerria japonica* DC. (ヤマブキ)

喜界島 西目 (ぜんそく)。

*Rhaphiolepis umbellata* Makino var. *mertensii* Makino (シャリンバイ)

奄美大島 瀬戸内町清水, アクチ, ティチギ, デッギ (実—食用)。竜郷村竜郷, ティチギ (染料)。

与路島 (山羊が食べる)。

徳之島 伊仙町, テアッチ (染料)。天城町, アクチ (老木の樹皮—魚毒)。

**Leguminosae** マメ科*Cassia occidentalis* L. (ハブソウ)

喜界島 荒木, ハブサウ (根の球—咳止め)。花良治 (内臓病)。大朝戸 (煎飲—胃腸病)。

沖永良部島 瀬利覚, ハブチャ (実の陰干を煎飲—腎臓病)。

*Arachis hypogaea* L. (ナンキンマメ)

与論島 曾木名 (生食する—胃腸病)。

*Derris trifoliata* Lour. (シイノキカズラ, デリス)

奄美大島 瀬戸内町管鈍 (魚毒)。住用村山間 (魚毒)。

加計呂麻島 押角 (魚毒)。

請 島 請阿室 (家畜に毒)。

徳之島 天城町, カズラ (魚毒)。徳之島町, リリス, デリス (魚毒)。

沖永良部島 瀬名 (魚毒)。知名 (魚毒)。久志検 (魚毒)。余田 (魚毒)。和泊町, ゲラン (樹皮—魚毒)。瀬利覚 (根—魚毒)。玉城 (根—魚毒)。

与論島 曾木名 (魚毒)。那間 (魚毒)。立長 (魚毒)。

*Medicago denticulata* Willd. (ウマゴヤシ)

沖永良部島 手々知名, オオジグサ (新芽—食用, 家畜の飼料)。田皆, ムトオオジ (家畜の飼料)。小米, オオデグサ (魚毒)。瀬利覚, オオデグサ (盲腸)。

*Erythrina crista-galli* L. (アメリカデイゴ)

奄美大島 笠利町赤木名, デンギ (工芸材料, 鍋などのフタを作る)。

### Oxalidaceae カタバミ科

*Oxalis corniculata* L. (カタバミ)

奄美大島 瀬戸内町阿鉄, ヤハタグサ (切傷)。瀬戸内町篠川 (もんで患部につける一切傷)。

加計呂麻島 押角, ミャークサ (止血)。生間 (腐ったナスの汁によってなる皮膚病に効く)。

喜界島 荒木, シャジク (血圧降下)。志戸桶 (初傷)。島中 (汁をつける—止血)。

沖永良部島 玉城 (切傷)。

徳之島 伊仙町 (洗濯の時用いる)。

与論島 東区 (切傷)。

*Oxalis martiana* Zucc. (ムラサキカタバミ)

喜界島 早町 (家畜の病気に用いる)。

徳之島 伊仙町 (サビとりに用いる)。

与論島 古里 (胃腸病)。

### Geraniaceae フウロウソウ科

*Geranium nepalense* Sweet (ゲンノショウコ)

奄美大島 瀬戸内町清水 (白い花の咲くものを煎飲—胃腸病)。瀬戸内町阿鉄 (煎飲—胃腸病, 婦人病)。瀬戸内町阿木名 (陰干を煎飲—婦人病)。

喜界島 城久 (陰干を煎飲—胃腸病)。大朝戸 (煎飲—胃腸病)。

徳之島 伊仙町 (煎飲—胃腸病)。

沖永良部島 久志検 (腹痛の時用いる)。

*Pelargonium inquinans* Ait. (テンジクアオイ)

徳之島 伊仙町, アオイ (家畜に毒)。

### Rutaceae ミカン科

*Xanthoxyum piperitum* DC. (サンショウ)

奄美大島 笠利赤町木名, サンショウ (ウナギをとる)。竜郷村竜郷, サンショウギ (ウナギをとる)。竜郷村円, サンショノキ (魚毒)。名瀬市根瀬部, サンショ (魚毒)。大和村津名久, サンショ (ウナギをとる)。瀬戸内町蘇刈, サンショギ (魚毒)。瀬戸内町嘉徳 (魚毒)。瀬戸内町久慈 (魚毒)。瀬戸内町管鈍 (葉—魚毒)。瀬戸内町阿木名 (魚毒)。住用村山間 (ウナギをとる)。

加計呂麻島 生間, サンショ (樹皮—魚毒)。諸鈍, サンショ (魚毒)。諸数, サンショギー

(魚毒)。押角 (魚毒)。

徳之島 伊仙町 (魚毒)。徳之島町, サンソウ (葉—魚毒。幹—毒消し)。

*Citrus unshiu* Marcov. (ウンシュウミカン)

喜界島 西目 (果皮をヨモギ, オオバコと共に煎飲—風邪)。島中 (風邪)。

*Citrus aurantium* L. var. *daidai* Makino (ダイダイ)

請島 請阿室 (煎服—風邪)。

徳之島 伊仙町 (煎飲—解熱)。徳之島町 (煎飲—風邪)。

*Citrus medica* L. var. *sarcodactylus* Swingle (ブシュカン)

沖永良部島 瀬名, ブッシュカン (食用, 特に漬物として美味)。

### Simaroubaceae ニガキ科

*Picrasma quassioides* Benn. (ニガキ)

喜界島 先内 (葉—胃腸病)。

徳之島 徳之島町 (皮を煎じて塗る—牛馬のダニ, シラミの駆除)。

### Meliaceae センダン科

*Melia azedarach* L. var. *japonica* Makino (センダン)

奄美大島 住用村山間 (樹皮—虫下し)。

喜界島 島中 (実—しもやけ)。大朝戸 (葉—腎臓病)。

徳之島 伊仙町 (樹皮—虫下し)。

与論島 那間, シンダンギ (樹皮を煎飲—十二指腸潰瘍)。

### Euphorbiaceae トウダイグサ科

*Euphorbia humifusa* Wild. (ニシキソウ)

徳之島 伊仙町 (汁をつける—切傷)。

与論島 東区, パッタイマツギ, パッタイマチ (魚毒)。瀬良座, パッタイマチ (魚毒)。  
古里, パッタイマチ (魚毒)。

*Euphorbia helioscopia* L. (トウダイグサ)

徳之島 伊仙町 (汁をつける—皮膚病)。

沖永良部島 知名, アークサ (魚毒)。手々知名, アークサ (魚毒)。

与論島 東区 (牛馬に毒)。

*Euphorbia neriifolia* L. (キリンカク)

徳之島 伊仙町, メクラギ, クッシヤマクサ, クッシヤマギ (汁をつける—皮膚病。魚毒)。  
亀徳町, ハチキャン, クッシヤマギ (汁をつける—タムシ)。天城町, クッシヤマギ (魚毒)。

沖永良部島 余田, クシヤマニジ, クシヤバニジ (汁をつける—タムシ。魚毒)。久志検, メクラギ (魚毒)。  
和泊町, クシヤバニジ (魚毒)。小米, メクラギ (魚毒)。

与論島 叶, ウニンギ (魚毒)。瀬良座, ウニンギ (家畜に毒)。

*Ricinus communis* L. (トウゴマ)

徳之島 徳之島町, タンゲタス (下痢止め)。

*Daphniphyllum macropodium* Miq. (ユズリハ)

沖永良部島 和泊町 (葉を煎飲—咳止め)。

*Breynia officinalis* Hemsl. (オオシマコバンノキ)



奄美大島 瀬戸内町嘉徳, ビャービャーグサ (家畜に毒)。  
喜界島 城久 (家畜に毒)。小野津 (山羊が流産する)。大朝戸, ハンカ (山羊が流産する)。島中 (家畜に毒)。

*Euphorbia jolkini* Boiss. (イワタイゲキ)

与論島 瀬良座, バンバラマチ (魚毒)。古里, アンバラマチ (魚毒)。曾木名, アンバラマチ (魚毒)。立長, チチグサ (魚毒)。

*Croton codiaeum variegatum var. pictum* (クロトン, ヘンヨウボク)

請島 請阿室 (家畜に毒)。

#### Aquifoliaceae モチノキ科

*Ilex integra* Thunb. (モチノキ)

奄美大島 瀬戸内町手安, ムチギ (樹皮—魚毒)。

与路島 (白蟻防除)。

#### Balsaminaceae ツリフネソウ科

*Impatiens balsamina* L. (ホウセンカ)

加計呂麻島 生間 (骨抜き)。

喜界島 小野津, ハマンクワ (茎の汁をつける—皮膚病)。

#### Vitaceae ブドウ科

*Ampelopsis brevipedunculata* Trautv. (ノブドウ)

奄美大島 名瀬市根瀬部 (樹液—ジンマシンに効く)。笠利町赤木名, カネブ (眼病)。

加計呂麻島 生間, カネブ, タンガサ (皮膚病)。諸鈍, カネブ, タンガサ (皮膚病)。諸数, カネブ, タン (皮膚病)。

与路島 カネブ (皮膚病)。

喜界島 城久, ヤマブドウ (樹液—タンガサ)。島中, ハンダ (樹液—皮膚病)。小野津 (タンガサ)。志戸桶 (汁—皮膚病)。早町, ハンダ (皮膚病)。花良治 (樹液—皮膚病)。大朝戸, トウカンダ (樹液—皮膚病)。荒木 (皮膚病)。

沖永良部島 和泊町, ハニブ (葉—皮膚病)。玉城, ヤマブドウ (ウルシ負けに用いる)。

#### Elaeocarpaceae ホルトノキ科

*Elaeocarpus japonicus* Sieb. et Zucc. (コバンモチ)

奄美大島 瀬戸内町嘉徳, シラテク (樹皮の陰干を煎飲—腎臓病, 十二指腸の病気)。

#### Malvaceae アオイ科

*Sida insularis* Hatusima (ハイキンゴジカ)

喜界島 先内, ユッチュンサー (皮膚病)。

*Urena sinuata* L. (ボンテンカ)

喜界島 城久 (葉—洗剤の代わりに用いる)。

#### Theaceae ツバキ科

*Camellia japonica* L. (ツバキ)

奄美大島 瀬戸内町阿木名 (葉—家畜に毒)。

徳之島 伊仙町 (実の殻—魚毒)。徳之島町 (実—魚毒)。

沖永良部島 知名 (実の殻—魚毒)。

*Schima wallichii* ssp. *liukuensis* Bloemb. (イジュ)

奄美大島 竜郷村竜郷 (樹皮一魚毒)。竜郷村円 (魚毒)。名瀬市根瀬部 (魚毒)。大和村津名久 (魚毒)。瀬戸内町蘇刈 (魚毒)。瀬戸内町嘉徳 (魚毒)。瀬戸内町油井 (魚毒)。瀬戸内町阿鉄 (樹皮一魚毒)。瀬戸内町篠川 (魚毒)。瀬戸内町久慈 (魚毒)。瀬戸内町管鈍 (魚毒)。瀬戸内町阿木名 (魚毒)。住用村山間 (魚毒)。

加計呂麻島 諸鈍 (魚毒)。諸数, イジュンキ (魚毒)。

請 島 請阿室 (魚毒)。

与 路 島 (魚毒)。

喜 界 島 城久 (魚毒)。島中 (魚毒)。

徳 之 島 伊仙町 (魚毒)。徳之島町 (魚毒)。亀徳町 (樹皮一魚毒)。

沖永良部島 永峰 (魚毒)。瀬名 (魚毒)。知名 (魚毒)。屋子母 (魚毒)。手々知名 (魚毒)。余田, イジュキ (魚毒)。和泊町 (樹皮一魚毒)。小米 (魚毒)。玉城 (魚毒)。

*Ternstroemia japonica* Thunb. (モッコク)

奄美大島 瀬戸内町蘇刈, アカモム (船の櫓をつくる)。

加計呂麻島 諸数 (家畜に毒)。諸鈍, ハーンモ (魚毒)。

請 島 請阿室, アカモモ (魚毒, 白蟻防除)。

与 路 島 モモギ, アカモモ (魚毒, 白蟻防除)。

## Guttiferae オトギリソウ科

*Garcinia spicata* Hook. f. (フクギ)

奄美大島 瀬戸内町管鈍, センベイノキ, フクヌンノキ (魚毒。垣根にする)。

与 路 島 カジキ (実一毒, 野鳥が食べない。防火壁, 垣根などにする)。

喜 界 島 荒木, フクロギ (汁一タムシ)。城久 (魚毒)。志戸桶, ウナジンサー (魚毒)。先内, トウフク (魚毒)。

徳 之 島 徳之島町, グムル (魚毒)。

## Cactaceae サボテン科

*Opuntia ficus-indica* Mill. var. *saboten* Makino (サボテン)

請 島 請阿室, ウチワサボテン (陰干して煎飲一利尿剤)。

## Elaeagnaceae グミ科

*Elaeagnus glabra* Thunb. (ツルグミ)

奄美大島 笠利町赤木名, グビ, グミ (茎の陰干を煎飲一破傷風, 神経痛)。名瀬市根瀬部, グビッキ, グビノキ (煎飲一破傷風, 風邪)。竜郷村竜郷, クビキ (陰干を煎飲一化膿止め)。大和村津名久, クビッキ (ヒエ抜き)。大和村名音, クビギ (風邪)。住用村山間, グミ (幹の陰干を煎飲一腎臓病)。瀬戸内町嘉徳, グビギ (陰干を煎飲一破傷風, 肝臓病, 腎臓病, 神経痛, 血圧降下)。瀬戸内町阿木名, グビギ, グミ (煎飲一破傷風の予防, 毒消し, 化膿止め, 解熱, 血圧降下)。瀬戸内町清水, グビ, グビギ (陰干を煎飲一肝臓, 腎臓病, 高血圧)。瀬戸内町嘉鉄, グビ (肝臓, 腎臓病, 高血圧)。瀬戸内町管鈍, グビギ (高血圧)。瀬戸内町阿鉄, グビギ (陰干を煎飲一万病)。

加計呂麻島 諸数, クビキ (陰干を煎飲一肝臓, 腎臓病)。勝能, グビギ, グビノキ (幹を煎飲一神経痛, 万病)。押角, グビギ (煎飲一高血圧)。生間, グビノキ (煎飲一淋

病)。

- 与 路 島 グビ, グビギ, クビキ, クビギ (幹を煎飲—皮膚病, 神経痛, 高血圧, 産後の貧血, 万病。生汁を飲む—胃腸病)。  
 喜 界 島 花良治, シビイ (皮膚病)。荒木, グミ (皮を用いる—解熱)。志戸桶, グッピー (幹とイタビカズラの茎を混ぜ煎飲)。城久, グビー (皮を煎飲—淋病)。早町, クヴァ (幹を煎飲—胃腸病)。  
 徳 之 島 徳之島町, グミノキ (乾燥させたものを煎飲—肝臓, 腎臓病)。

#### Punicaceae ザクロ科

*Punica granatum* L. (ザクロ)

- 徳 之 島 伊仙町, ジャクロ (葉, 根をお茶代わりに飲用—解熱)。  
 沖永良部島 西名 (根—駆虫剤)。手々知名 (実—下痢止め)。和泊町 (葉, 実, 根を煎飲)。  
 玉城 (実を煎飲—下痢止め)。  
 与 請 島 瀬良座 (根を煎飲—下痢止め)。

#### Myrtaceae フトモモ科

*Psidium guajava* L. (バンジロウ)

- 加計呂麻島 勝能 (タバコの代用)。  
 与 論 島 那間 (枝を煎飲—胃腸病)。立長 (煎飲—胃腸病)。瀬良座 (煎飲—胃腸病)。

#### Melastomataceae ノボタン科

*Melastoma candidum* D. Don var. *nobotan* Makino (ノボタン)

- 奄美大島 瀬戸内町管鈍 (切傷)。

#### Araliaceae ウコギ科

*Aralia elata* Seem. (タラノキ)

- 奄美大島 瀬戸内町阿木名, ダラギ (万病)。  
 加計呂麻島 押角, ダラギ (煎飲—糖尿病)。  
 与 路 島 ダラギ (イカ釣りの餌木)。  
 徳 之 島 天城町, ダラギ (血圧降下)。徳之島町, ダラギ (血圧降下)。

#### Umbelliferae セリ科

*Hydrocotyle sibthorpioides* Lam. (チドメグサ)

- 奄美大島 瀬戸内町阿木名 (止血。焼いて患部に貼る—ヒエ抜き)。  
 喜 界 島 城久 (切傷)。  
 徳 之 島 伊仙町 (もんで汁をつける—切傷)。

*Peucedanum japonicum* Thunb. (ボタンボウフウ)

- 加計呂麻島 諸数, マダク, マタギ (便秘の薬)。生間, マダクツ (根を煎飲—万病。山羊の餌)。諸鈍, マタギ (根の陰干を煎飲—万病)。  
 喜 界 島 小野津 (根を煎飲—腎臓病)。志戸桶, カマギー (根を煎飲—腎臓病)。早町, イスミー (煎飲—腎臓病)。荒木, ハマゴボウ (万病の薬)。  
 徳 之 島 亀徳町, アシタバ, ハマゼリ, ハマゴボウ, マンタク (根の陰干を煎飲—内臓病一般。葉を煎飲—肝臓・腎臓病)。

*Angelica kiusiana* Maxim. (ハマウド)

奄美大島 竜郷町円, ハマタデ, ハマサデ (かっけに効く。魚毒)。

徳之島 徳之島町, ハマゴボウ (魚毒)。

*Daucus carota* L. var. *sativa* DC. (ニンジン)

喜界島 小野津 (葉を食べさせる一馬が病気の時)。

### Ericaceae ツツジ科

*Rhododendron eriocarpum* Nakai (マルバサツキ)

奄美大島 瀬戸内町嘉徳, サクラギ (家畜に毒)。瀬戸内町油井, ヤマトツジ (家畜に毒)。

瀬戸内町阿鉄, ヤマトツジ (家畜に毒)。瀬戸内町篠川, ヤマトツジ (家畜に毒)。

瀬戸内町管鈍, ヤマトツジ (家畜に毒)。住用村山間, ヤマトツジ (家畜に毒)。

徳之島 徳之島町, ツツジ (家畜に毒)。伊仙町, ヤマトツジ (家畜に毒)。天城町, ヤマトツジ (家畜に毒)。

*Vaccinium bracteatum* Thunb. (シャシャンボ)

奄美大島 瀬戸内町清水, ギマ (実—食用)。

与路島 ゲマギ (実—食用)。

徳之島 伊仙町, グムンギ (実—食用)。

### Primulaceae サクラソウ科

*Anagallis arvensis* L. forma *coerulea* Baumg. (ルリハコベ)

奄美大島 竜郷村円, ホンクサ (魚毒)。

与路島 ツユクサ, ミズクサ (魚毒)。

喜界島 城久, ミツチャルウ (魚毒)。小野津, ミツキヤルウ (魚毒)。西目, ミツチャルウ (魚毒)。島中, ミツチエルウ (魚毒)。志戸桶, ミツキヤルー (魚毒)。早町, ミツキヤルウ (魚毒)。花良治, ササ, ミツチャルウ (魚毒)。荒木, ミツチャルウ (魚毒)。赤連, ミツチャルウ (魚毒)。大朝戸, ミツチャルウ (魚毒)。先内, ミツチャルウ (魚毒)。

徳之島 伊仙町, ミズクサ, ケーゴ (魚毒)。天城町, アイグサゴ, ミズクサ (魚毒)。徳之島町, ミズクサ (魚毒)。亀徳町, ミズクサ (魚毒)。

沖永良部島 田皆, ミズクサ (魚毒)。永峰, ミズクサ (魚毒)。瀬名, ミジユクサ (魚毒)。知名, ミズクサ (魚毒)。久志検, ミズクサ (魚毒)。屋子母, ミズクサ (魚毒)。手々知名, ミズクサ (魚毒)。余田, ミズクサ (魚毒)。和泊町, ミズクサ (魚毒)。玉城, ミズクサ (魚毒)。

与論島 東区, ミミジクサ (魚毒)。瀬良座, ミイミジクサ (魚毒)。古里, ミイミジクサ (魚毒)。叶, ミイミジクサ (魚毒)。曾木名, ミイミジクサ (魚毒)。那間, ミイミジクサ (魚毒)。伊前, ササグサ (魚毒)。立長, ミミズグサ (魚毒)。茶花, ミミジクサ (魚毒)。

*Lysimachia mauritiana* Lam. (ハマボッス)

喜界島 荒木, アーザー (魚毒)。

### Plumbaginaceae イソマツ科

*Limonium wrightii* O. Kuntze. (イソマツ)

喜界島 荒木 (万病)。

**Ebenaceae** カキノキ科*Diospyros kaki* Thunb. (カキ)奄美大島 瀬戸内町嘉鉄, ヤマガキ (枝を煎飲—腎臓病)。瀬戸内町管鈍 (樹皮, 葉を煎飲—  
血圧降下)。

請 島 請阿室 (葉—食中毒)。

与 論 島 立長 (葉を煎飲—腎臓病)。瀬良座 (煎飲—循環器の障害)。

*Diospyros lotus* L. (トキワガキ)

奄美大島 笠利町赤木名, ヤマカギ (高血圧)。

**Styracaceae** エゴノキ科*Styrax japonica* Sieb. et Zucc. (エゴノキ)

与 路 島 コヤス (魚毒)。

**Gentianaceae** リンドウ科*Swertia japonica* Makino (センブリ)

喜 界 島 花良治 (胃腸病)。

沖永良部島 和泊町 (葉を煎飲—胃腸病)。

**Apocynaceae** キョウチクトウ科*Nerium indicum* Mill. (キョウチクトウ)

加計呂麻島 生間 (家畜に毒)。

喜 界 島 小野津 (家畜に毒)。荒木 (家畜に毒)。

徳 之 島 伊仙町 (家畜に毒)。天城町, トウチクトウ (家畜に毒)。

沖永良部島 和泊町 (家畜に毒)。

*Cerbera lactaria* Ham. (ミフクラギ)

奄美大島 瀬戸内町油井, チーマグサ (切傷)。

**Convolvulaceae** ヒルガオ科*Ipomoea batatas* Lam. var. *edulis* Makino (サツマイモ)

奄美大島 大和村名音 (葉を止血に用いる)。瀬戸内町清水 (煮汁—ハブ咬傷の毒消し)。

請 島 請阿室, カライモ (青酸カリの毒消し)。

喜 界 島 志戸桶, イモ (葉—切傷)。赤連, イモ (葉汁をつける—切傷)。

*Cuscuta chinensis* Lam. (ハマネナシカズラ)

奄美大島 瀬戸内町蘇刈, ネナシカズラ (煎じて患部につける—神経痛)。

**Boraginaceae** ムラサキ科*Symphytum peregrinum* Ledeb. (コンフリー)

喜 界 島 花良治, コンフリー (胃腸病)。荒木 (血圧降下)。

沖永良部島 瀬名, コンフリー (血圧降下)。

**Verbenaceae** クマツツラ科*Clerodendron trichotomum* Thunb. (クサギ)

奄美大島 住用村山間 (かんのむし)。笠利町赤木名 (新芽を食用とする)。

加計呂麻島 押角 (新芽—食用)。

徳 之 島 伊仙町 (新芽—食用)。

与論島 瀬良座 (胃腸病)。

*Vitex rotundifolia* L. fl. (ハマゴウ)

徳之島 伊仙町, ホウギ (魚毒)。

*Callicarpa japonica* Thunb. var. *luxurians* Rehder (オオムラサキシキブ)

喜界島 先内 (葉—墮胎剤)。

#### Labiatae シソ科

*Isodon inflexus* Kudo (ヤマハッカ)

奄美大島 瀬戸内町蘇刈 (小枝で目をふく—赤目のとき)。瀬戸内町油井, ハッカグサ (家畜に毒)。

喜界島 城久 (葉を患部に詰める—歯痛)。

徳之島 徳之島町, ハッカグサ (ヒエ抜き, はやり目)。

*Perilla frutescens* Britton var. *acuta* Kudo (シソ)

加計呂麻島 生間 (葉—腹痛)。諸敷 (葉—食当り)。勝能 (葉—解毒)。

#### Solanaceae ナス科

*Solanum melongena* L. (ナス)

奄美大島 瀬戸内町阿木名 (汁をつける—耳病)。

喜界島 城久, ナスビ (耳病)。

*Datura metel* L. (チョウセンアサガオ)

奄美大島 名瀬市根瀬部 (ぜんそく)。

与論島 瀬良座, オキナワユリ (煎飲—胃腸病)。

*Lycium chinense* Mill. (クコ)

喜界島 荒木 (煎飲—血圧降下, 下剤)。

沖永良部島 瀬名 (クコ茶として飲用—血圧降下)。

*Nicotiana tabacum* L. (タバコ)

奄美大島 瀬戸内町手安 (キザミタバコを止血に用いる)。

与論島 立長 (葉を切傷の時用いる)。

#### Acanthaceae キツネノマゴ科

*Justicia procumbens* L. (キツネノマゴ)

喜界島 荒木 (魚毒)。

*Justicia procumbens* L. (キツネノヒマゴ)

与路島 アーネクサ (根は毒)。

喜界島 志戸桶, アーニンサー (魚毒)。赤連, アーニンサー (魚毒)。先内, アーニンサー (魚毒)。

#### Plantaginaceae オオバコ科

*Plantago asiatica* L. (オオバコ)

奄美大島 笠利町赤木名 (切傷)。瀬戸内町阿鉄 (切傷, ヒエ抜き)。瀬戸内町清水 (皮膚病)。瀬戸内町嘉徳, オバクサ (焼いて患部に貼る—ヒエ抜き)。瀬戸内町油井 (焼いて患部に貼る—ヒエ抜き)。瀬戸内町篠川 (ヒエ抜き)。瀬戸内町久慈 (ヒエ抜き)。瀬戸内町管鈍, オンバクサ (焼いて患部に貼る—ヒエ抜き。咳止め)。瀬戸内町阿木名, オバクサ (ヒエ抜き)。住用村山間, アサクサ (若葉を用いる—)

- ヒエ抜き)。大和村名音, ホバクサ (煎飲一肝臓病)。
- 加計呂麻島 諸鈍, シバクサ (吸出し)。諸数 (吸出し。ヒエ抜き)。生間, ウンバクサ, オバクサ (焼いて患部に貼る一皮膚病, ヒエ抜き)。勝能, オバクサ (ヒエ抜き)。
- 喜 界 島 城久, アオバコ (切傷, ヒエ抜き)。志戸桶, ウフバンサー (焼いてもみ患部につける一切傷, ヒエ抜き)。小野津 (切傷)。西目 (汁をつける一切傷。ヨモギ, ミカンの果皮と共に煎飲一風邪)。花良治, オオバンサー (切傷)。先内 (皮膚病の吸出し)。島中 (ヒエ抜き)。早町, ネゴトグサ (葉をもんで患部につける一ヒエ抜き)。荒木, ウフバンサー, ウラワンサー (陰干を煎飲一咳止め。内臓病。ヒエ抜き)。赤連 (汁をつける一ヒエ抜き)。
- 徳 之 島 伊仙町, オバクサ (切傷, 皮膚病, ヒエ抜き)。徳之島町 (皮膚病)。天城町, オバクサ (ヒエ抜き)。
- 沖永良部島 久志検 (切傷)。手々知名 (切傷)。玉城 (皮膚病)。永峰, クサクバ (皮膚病の吸出し)。余田, オバクサ (皮膚病の吸出し。陰干を煎飲一胃腸病)。和泊町, ウバクサ (葉を焼いて患部に貼る一皮膚病, ヒエ抜き)。瀬利覚 (皮膚病)。
- 与 論 島 瀬良座, オオバク (切傷)。古里, ピィファンクサ (切傷, 風邪)。那間, ピィファンクサ (葉を焼いて患部に貼る一皮膚病の吸出し)。東区, ピィファンクサ (葉を焼いて患部に貼る一ヒエ抜き)。曾木名 (煎飲一胃腸病)。

#### Rubiaceae アカネ科

*Paederia scandens* Merrill. (ヘクソカズラ)

徳 之 島 徳之島町 (切傷)。

#### Caprifoliaceae スイカズラ科

*Sambucus chinensis* Lindl. (ソクズ)

奄美大島 瀬戸内町蘇刈 (胃腸病)。竜郷村円, クサニワトコ (煎飲一肝臓病)。

加計呂麻島 諸数, タデ (下剤)。

喜 界 島 城久 (食す一腎臓病)。

沖永良部島 瀬利覚, ワンカケージ (葉を煎飲一便秘)。田皆。ワンカケージ (便秘)。手々知名, ワンカケージ (便秘)。

徳 之 島 徳之島町, テーズ (便秘)。

*Viburnum awabuki* K. Koch (サンゴジュ)

沖永良部島 瀬名 (葉一魚毒)。

*Lonicera japonica* Thunb. (スイカズラ)

奄美大島 瀬戸内町蘇刈, キンギンカズラ (関節炎。消毒剤)。

与 路 島 キンギンカズラ (ハブ咬傷)。

#### Cucurbitaceae ウリ科

*Cucumis sativus* L. (キュウリ)

喜 界 島 島中 (実を切つて患部をこする一火傷)。

*Luffa cylindrica* Roem. (ヘチマ)

奄美大島 住用村山間 (ヘター火傷)。

*Momordica charantia* L. (ツルレイシ)

喜 界 島 先内, ニガゴリ (胃腸病)。

*Trichosanthes cucumeroides* Maxim. (カラスウリ)

沖永良部島 和泊町 (根を煎飲一咳止め, 胃腸病)。

*Citrullus battich* Forskål. (スイカ)

奄美大島 瀬戸内町篠川 (腎臓病)。

与論島 立長 (煎飲一腎臓病)。

*Benincasa cerifera* Savi (トウガン)

奄美大島 瀬戸内町阿木名 (腎臓病)。

与論島 立長 (腎臓病)。

### Compositae キク科

*Artemisia vulgaris* L. var. *indica* Maxim. (ヨモギ)

奄美大島 笠利町赤木名 (煎飲一解熱。切傷)。名瀬市根瀬部 (切傷。風呂に入れる一アセモ)。大和村津名久 (止血。風邪。風呂に入れる一アセモ)。大和村名音 (切傷)。瀬戸内町蘇刈 (止血)。瀬戸内町油井 (切傷。汁を飲む一胃腸病)。瀬戸内町阿鉄 (切傷。陰干を煎じてつける一皮膚病, カユミ止め)。瀬戸内町久慈 (切傷)。瀬戸内町管鈍, モグサ (切傷。汁を飲む一胃腸病。汁を頭につける一血圧降下)。瀬戸内町阿木名, モグサ (もんで患部につける一切傷, 火傷)。瀬戸内町清水 (皮膚病。煎飲一胃腸病。ハブ咬傷の毒消し)。瀬戸内町篠川 (汁を飲む一胃腸病)。瀬戸内町嘉徳 (汁を飲む一風邪。歯痛)。竜郷村円 (皮膚病の吸出し)。竜郷村竜郷 (陰干を煎飲一風邪)。住用村山間 (煎飲一解熱, 風邪, 体が冷える時)。

加計呂麻島 勝能 (止血。汁を飲む一胃腸病)。生間, モグサ (もんでつける一切傷。汁を飲む一胃けいれん。風邪)。

与路島 モグサ (汁を飲む一胃腸病。牛馬の腫れものに用いる)。

喜界島 志戸桶, モグサ (止血)。小野津, モグサ (もんでつける一止血。乾燥物を煎飲胃けいれん)。西目 (汁をつける一切傷。オオバコ。ミカン果皮と共に煎飲一風邪)。花良治, モグサ (切傷)。荒木, モグサ (切傷, 胃腸病, 風邪)。大朝戸 (止血。煎飲一胃腸病)。城久 (汁を飲む一胃腸病)。先内 (解熱)。

徳之島 伊仙町, フツ (もんで使用一止血。メリケン粉とまぜて患部に湿布する一ヒエ抜き。煎飲一胃腸病)。徳之島町 (切傷。胃腸病)。天城町, モグサ (山羊の肉と煎飲一万病)。

沖永良部島 瀬名 (止血)。余田, フチ (切傷)。和泊町 (葉をもんでつける一切傷)。小米 (止血)。玉城 (切傷)。田皆 (内臓病)。瀬利覚 (葉を風呂に入れる一神経痛)。知名 (血圧降下)。

与論島 東区 (切傷)。瀬良座 (切傷)。古里, フチ (切傷。胃腸病)。叶, フチ (切傷)。曾木名, フチ (切傷解熱)。那間, フチ (切傷。もんで詰める一歯痛)。伊前, フチ (切傷)。立長, フチ (止血。汁を砂糖と混ぜて飲む一解熱)。茶花, クチ (切傷)。

*Ligularia tussilaginea* Makino. (ツワブキ)

奄美大島 大和村名音 (切傷)。瀬戸内町手安 (吸出し)。瀬戸内町篠川, ツバ (温めてもみ, 貼る一ヒエ抜き)。竜郷村円 (吸出し)。笠利町赤木名 (葉を焼いて貼る一ヒエ抜き)。名瀬市根瀬部, ツバサ, ツバサノキ (ヒエ抜き, 皮膚病)。

加計呂麻島 勝能 (吸出し)。



与 路 島 (焼いて患部に貼る一吸出し)。

喜 界 島 城久 (皮膚病。ヒエ抜き)。

徳 之 島 伊仙町 (ヒエ抜き)。

沖永良部島 和泊町 (葉を焼いて患部に貼る一ヒエ抜き)。

与 論 島 曾木名 (葉を焼いて貼る一皮膚病)。

*Gynura bicolor* DC. (スイゼンジナ)

奄美大島 竜郷村円, ハンダマ (貧血)。

与 路 島 ハンダマ (血圧降下)。

沖永良部島 瀬利覚, ハンダマ (咳止め)。知名, ファンダマ (血圧降下)。下平川, ファンダマ (食用)。

与 論 島 古里, サクナ (煎飲一婦人病)。

*Lactuca lanceolata* Makino (ホソバワダン)

奄美大島 瀬戸内町油井, ニガナ (汁を飲む一胃腸病。切傷)。瀬戸内町嘉徳, ニガナ (食す一胃腸病)。瀬戸内町阿鉄, ニガナ (煎飲一胃腸病)。瀬戸内町久慈, ニガナ (胃腸病)。瀬戸内町管鈍, ニガナ (汁を飲む一胃腸病)。笠利町赤木名, ニガナ (胃腸病)。竜郷村円, ニガナ (胃腸病)。名瀬市根瀬部, ニガナ (胃腸病)。大和村津名久, ニガナ (胃腸病)。大和村名音, トイロ (胃腸病)。住用村山間, ニガナ (胃腸病)。

加計呂麻島 諸鈍, ニギヤナ (汁を飲む一腹痛)。勝能, ニガナ (根を煎飲一胃腸病)。生間, ニガナ (汁を飲む一胃腸病)。

与 路 島 ニガナ (胃腸病。家畜の飼料)。

喜 界 島 城久, アマナ (煎飲又は生食一胃腸病)。小野津, アマナ (汁を飲む一胃腸病)。

島中, アマナ (根を煎飲一胃腸病)。志戸桶, アマナ (汁を飲む一胃腸病)。早町, アマナ (煎飲又は生食一胃腸病, 腎臓病)。花良治, アマナ (陰干を煎飲一胃腸病)。荒木, ニガナ, アマナ (ヨモギと共に煎飲一胃腸病)。大朝戸, アマナ (煎飲一胃腸病)。赤連, アマナ (煎飲一胃腸病)。

徳 之 島 伊仙町, ニガナ (汁を飲む一胃腸病)。徳之島町, ニガナ (胃腸病)。

沖永良部島 田皆, ニガナ, ツーユ (食用。胃腸病)。永峰, ニガナ (胃腸病)。瀬名, ニギヤナ (胃腸病)。手々知名, ニガナ (煎飲一胃腸病)。和泊町, リジヤナ (胃腸病)。瀬利覚, イギヤナ (陰干と煎飲一胃腸病)。知名, ツーユ (食用)。

与 論 島 東区, ウンジャナ, ツーユ (煎飲一胃腸病。食用)。瀬良座, インジャナ (胃腸病)。古里, インジャナ (煎飲一胃腸病)。叶, インジャナ (煎飲一胃腸病)。曾木名, インジャナ (煎飲一胃腸病)。立長, ニギヤナ (煎飲一胃腸病)。

*Wedelia calendulacea* Less. (クマノギク)

喜 界 島 先内 (葉を止血に用いる)。

*Cirsium spinosun* Kitamura (オイランアザミ)

与 論 島 東区, アザミ (食用)。

*Lactuca laciniata* Makino. (アキノノゲシ)

与 論 島 瀬良座, ナガチキドユ (皮膚病)。

#### Pandanaceae タコノキ科

*Pandanus tectorius* Parkinson. (アダン)

奄美大島 大和村名音 (気根の陰干を煎飲—肝臓病)。瀬戸内町清水 (魚をとる時小枝で追  
い込む)。

与論島 那間 (芯を煎じる—胃腸病)。

### Gramineae イネ科

*Miscanthus sinensis* Anderss. (ススキ)

奄美大島 笠利町赤木名 (軸をもんでつける一切傷)。名瀬市根瀬部 (新芽を用いる—止血)。  
大和村津名久 (新芽—止血)。住用村山間 (家畜の病気の時に用いる)。

喜界島 城久 (根元を用いる一切傷)。

*Imperata cylindrica* Beauv. (チガヤ)

与論島 那間, マヒャウ (切傷)。

*Bambusa multiplex* Rauschel (ホウライチク)

奄美大島 住用村山間, キンチク (若葉を用いる—眼病)。

喜界島 城久, キンチク (家畜に葉を食べさせる—腹にガスがたまった時)。

沖永良部島 和泊町, タケ (若芽を焼き, 汁を用いる—ヒエ抜き)。小米, タケ (焼いて出る  
汁を飲む—ヒエ抜き)。玉城, タケ (節を煎飲—ヒエ抜き)。久志検, タケ (根を  
煎飲—解熱)。余田, タケ (葉を煎飲—風邪)。

*Pleioblastus linearis* Nakai. (リュウキュウチク)

沖永良部島 永峰, タケ (根を煎飲—破傷風)。手々知名, タケ (根を煎飲—破傷風)。小米,  
ガラチク, タケ (根を焼いて出る汁を飲む—破傷風)。

*Coix lachryma-jobi* L. (ジュズダマ)

喜界島 荒木 (地上部—解熱)。

*Zea mays* L. (トウモロコシ)

加計呂麻島 生間 (煎飲—腎臓病)。勝能 (ヒゲを煎飲—腎臓病)。

喜界島 花良治 (ヒゲを煎飲—腎臓病)。大朝戸 (ヒゲをタニシと煎飲—腎臓病)。荒木  
(ヒゲを用いる—腎臓病)。

徳之島 伊仙町 (ヒゲを煎飲又は実をいためて飲む—肝臓病, 腎臓病)。

沖永良部島 久志検 (腎臓病)。手々知名 (腎臓病)。玉城 (ヒゲを用いる—腎臓病)。

*Triticum aestivum* L. (コムギ)

奄美大島 瀬戸内町管鈍 (若葉—肝臓病, 腎臓病)。

*Arundo donax* L. var. *benghalensis* Makino (ダンチク)

徳之島 伊仙町, ダンチン, デク (若芽をさす—歯痛)。

### Cyperaceae カヤツリグサ科

*Cyperus rotundus* L. (ハマスゲ)

沖永良部島 知名, コウブシ (煎飲。漢方薬の原料)。手々知名, コウブシ (用途不明)。

### Araceae サトイモ科

*Colocasia antiquorum* Schott var. *esculenta* Engl. (サトイモ)

奄美大島 大和村名音 (葉—止血)。

与路島 ムジ (ハブ咬傷)。

*Alocasia macrorrhiza* Schott (クワズイモ)

奄美大島 瀬戸内町蘇刈, バシ (葉を用いる—皮膚病の吸出し)。瀬戸内町篠川, バシ (ヒ

エ抜き。イノシシも死ぬ程の毒)。瀬戸内町久慈, バシ (葉をあたためてもみ, 患部につける—ヒエ抜き)。笠利町赤木名, バジ (葉の上で卵をいって食べる—ヒエ抜き)。

加計呂麻島 諸鈍, バシ (火傷。ネズミ除け)。諸数, バシ (皮膚病の吸出し)。勝能, バシ (皮膚病の吸出し)。生間, バシ (ネズミ除け)。

与 路 島 バシ (傷口をふく—ハブ咬傷)。

徳 之 島 伊仙町 (葉を用いる—ヒエ抜き。牛馬に食べさせると死ぬ。)

沖永良部島 知名 (毛虫にさされた時)。小米 (茎をきり, きり口を患部に当てる—切傷)。玉城, ユエバシヨ (家畜に毒)。久志検 (先をとがらせて患部にさす—ち疾)。

与 論 島 瀬良座, ウィゴグサ (家畜に毒)。古里, ウィゴグサ (家畜に毒)。立長, ウィゴグサ (家畜に毒)。

*Arisaema ringens* Schott (ムサシアブミ)

喜 界 島 先内 (根—家畜に毒)。

沖永良部島 久志検 (解熱)。

#### Commelinaceae ツユクサ科

*Commelina communis* L. (ツユクサ)

奄美大島 住用村山間, ナンカダラ (魚毒)。

#### Liliaceae ユリ科

*Allium tuberosum* Rottl. (ニラ)

奄美大島 瀬戸内町嘉徳, ビラ (根の汁を入れる—耳の病気)。瀬戸内町管鈍 (下痢止)。

喜 界 島 城久 (根元を用いる—眼病)。

徳 之 島 亀徳町, ビラ (根のおろし汁—眼病)。

沖永良部島 小米 (汁—つき目の時入れる)。瀬利覚 (汁—つき目の時入れる)。

与 論 島 東区, ビャー (眼病)。古里, ビャー (根元でこする—眼病)。叶, ビャー (根元でこする—眼病)。曾木名, ビャー (根元でこする—眼病)。立長, ビャー (根元でこする—目にホシができた時)。

*Aloe arborescens* Mill. var. *natalensis* Berger (アロエ)

奄美大島 笠利町赤木名 (切傷)。瀬戸内町篠川, イシャイラズ (汁をつける—切傷。汁を飲む—胃腸病)。瀬戸内町久慈 (切傷。汁を飲む—胃腸病)。瀬戸内町管鈍, イシャイラズ (切傷。胃腸病)。瀬戸内町阿木名 (切傷。汁を飲む—二日酔。内臓病。解熱)。瀬戸内町阿鉄 (焼いてつける—ヒエ抜き, 煎飲—胃腸病)。瀬戸内町清水 (胃腸病)。瀬戸内町嘉鉄 (胃腸病)。瀬戸内町蘇刈 (胃腸病)。瀬戸内町嘉徳, イシャイラズ (汁を飲む—胃腸病。解熱)。瀬戸内町油井, イシャイラズ (汁を飲む—胃腸病。万病)。住用村山間 (切傷)。大和村名音 (胃腸病)。

加計呂麻島 諸数 (切傷。皮膚病。胃腸病)。生間 (汁をつける—切傷。ねんご。汁を飲む—胃腸病)。押角 (ヒエ抜き)。諸鈍 (汁を飲む—腹痛)。

請 島 請阿室, イシャイラズ (切傷。ヒエ抜き。食べる—胃腸病)。

喜 界 島 小野津, イシャイラズ (切傷。ヒエ抜き。胃腸病)。西目, イシャイラズ (汁をつける—切傷)。島中 (切傷。胃腸病。卵と混ぜ飲む—風邪)。早町, イシャイラズ (切傷。胃腸病)。花良治, イシャイラズ (切傷。皮膚病。煎飲—胃腸病)。荒

木, イシャイラズ (切傷。火傷。皮膚病。胃腸病)。赤連, イシャイラズ (汁をつける一切傷)。大朝戸, イシャイラズ (切傷)。志戸桶, イシャイラズ (ヒエ抜き。汁を飲む—胃腸病)。城久, イシャイラズ (汁を飲む—胃腸病)。

徳之島 伊仙町, イシャイラズ (切傷。万病)。天城町, イシャイラズ (切傷。胃腸病。万病)。徳之島町, イシャイラズ (胃腸病。万病)。

沖永良部島 久志検, イシャイラズ (切傷。胃腸病)。玉城, イシャイラズ (切傷)。田皆, イシャイラズ (胃腸病)。余田, イシャイラズ (煎飲—胃痛)。永峰, イシャイラズ (万病)。和泊町, イシャイラズ (万病)。

与論島 茶花, イシャイラズ (万病)。

*Allium sativum* L. *forma pekinense* Makino (ニンニク)

奄美大島 瀬戸内町嘉徳 (生食—結核。胃腸病)。

請島 請阿室 (結核。肋膜炎)。

喜界島 小野津 (葉—エワトリが病気の時食べさせる)。志戸桶 (万病)。城久, ヒー (ヒエ抜き)。

徳之島 徳之島町, ハカビル (根をすりおろして用いる—ヒエ抜き)。

沖永良部島 小米 (水虫。下痢止め)。久志検 (保温効果)。

*Smilax bracteata* Presl (サツマサンキライ)

加計呂麻島 押角, サンキライ (万病)。勝能, サンキライ (煎飲。胃腸病)。

喜界島 志戸桶, サンキラー (万病)。

沖永良部島 永峰, サンキラ (ヒエ抜き)。

*Rhodea japonica* Roth (オモト)

喜界島 荒木 (胃腸病)。先内, ムラサキオモト (葉の汁を飲む—胃けいれん)。

#### Amaryllidaceae ヒガンバナ科

*Crinum asiaticum* L. *var. japonicum* Baker (ハマユウ)

奄美大島 笠利町赤木名 (若葉を焼き用いる—皮膚病の吸出し)。竜郷村円 (皮膚病の吸出し)。名瀬市根瀬部 (皮膚病)。大和村名音 (ヒエ抜き)。瀬戸内町清水, サデク (皮膚病の吸出し)。瀬戸内町篠川 (焼いて皮をはぎ用いる—ヒエ抜き)。瀬戸内町管鈍 (焼いて用いる—ヒエ抜き)。

加計呂麻島 勝能 (皮膚病の吸出し)。諸数, ハマオモト (皮膚病の吸出し)。

喜界島 志戸桶 (葉を焼いてつける一切傷, 皮膚病)。荒木 (葉を用いる—皮膚病の吸出し)。先内 (皮膚病の吸出し)。早町 (葉を焼いて用いる—皮膚病)。花良治, フーガー (皮膚病)。西目 (葉を焼いてつける—ヒエ抜き)。

徳之島 伊仙町, サベック (焼いてつける—皮膚病)。

*Narcissus tazetta* L. *var. chinensis* Roem. (スイセン)

沖永良部島 玉城 (根を用いる—皮膚病)。

#### Dioscoreaceae ヤマノイモ科

*Dioscorea japonica* Thunb. (ヤマノイモ)

加計呂麻島 諸鈍, ヤマイモ (すりおろし患部につける—火傷)。

#### Musaceae バショウ科

*Musa basjoo* Sieb. (バショウ)

- 奄美大島 瀬戸内町油井 (汁をつける一火傷)。  
 沖永良部島 和泊町 (茎を水枕の代わりに用いる一解熱)。瀬名 (汁一牛や馬の胃腸薬)。  
 与論島 瀬良座 (解熱)。曾木名 (芯を水枕の代わりに用いる一解熱)。立長 (解熱)。

### Zingiberaceae ショウガ科

*Zingiber officinale* Rosc. (ショウガ)

- 請 島 請阿室 (煎飲一風邪)。  
 徳之島 伊仙町 (のどに湿布する一咳止め。うがいする一風邪)。  
 沖永良部島 瀬利覚 (咳止め)。手々知名 (黒砂糖と練り飲む一風邪)。田皆 (腎臓病)。永峰  
 (黒砂糖と混ぜ患部につける一切傷)。

*Alpinia speciosa* K. Schum. (ゲットウ)

- 与論島 東区, サニン (ひもをつくる)。

### Rhizophoraceae ヒルギ科

*Kandelia candel* Druce (メヒルギ)

- 奄美大島 笠利町赤木名 (根を染料にする)。

### Caricaceae パパイヤ科

*Carica papaya* L. (パパイヤ)

- 請 島 請阿室 (実の砂糖漬を食べる一肝臓病)。  
 喜界島 西目 (汁を飲む一心臓病。胃かいよう)。島中 (パパイヤと共に肉を煮ると柔らかくなる)。

### Auriculariaceae キクラゲ科

*Auricularia auricula-judae* Quél. (キクラゲ)

- 沖永良部島 和泊町 (煎飲一血圧降下)。

### Polyporaceae サルノコシカケ科

*Fomes* sp. (サルノコシカケ)

- 奄美大島 瀬戸内町阿鉄 (煎飲一癌)。

植物名不明の分

アワワ

- 喜界島 城久 (切傷)。

ツチンサー

- 喜界島 城久 (切傷)。

アシクタ

- 与論島 東区, 伊前 (根を煎じる一皮膚病)。

ロナン

- 請 島 請阿室 (実の陰干を煎飲一肝臓・腎臓病)。

シンモシヤ

- 徳之島 徳之島町 (腎臓病)。

ガンシヤモ

- 徳之島 徳之島町 (腎臓病)。

ニーヴリヒ

喜界島 島中 (魚毒)。

テンジンサー, テントウサー

喜界島 島中 (魚毒)。花良治 (魚毒)。

ムットピンサー

喜界島 赤連 (魚毒)。

ゴモンキ, トンニャック

徳之島 天城町 (多肉葉を割り汁を流す—魚毒)。

エチ

奄美大島 住用村, 山間 (染料)。

カムイナ

徳之島 伊仙町 (食用)。

ナビヤチャ

喜界島 城久 (実—毒)。

ピノリー

喜界島 荒木 (実—山羊に毒)。

マツチカン

沖永良部島 瀬名 (山羊がよく食べる)。

スウ

徳之島 伊仙町 (魚毒)。

ギンキチ

沖永良部島 和泊町 (毒)。

## 考 察

鹿児島県薩南諸島の奄美本島以南の島々は植物相において県本土とかなりな相違を示す。その植物の概況は、奄美大島本島、徳之島、沖永良部島の古生層からなる森林地帯 (イタジイ, イジュ, イスノキを主体とする) と喜界島、沖永良部島、与論島などの石灰岩層に繁茂する森林地帯、(アコウ, ガジュマル, ハマイヌビワ, フカノキ, ヤブニッケイ, ハマセンダン, サンゴジュ, リュウキュウマツなど) から成っている。海浜植物の砂丘群落, 隆起サンゴ礁群落, などというように景観的にも異なっている。このような環境のもとで, 昔から交通の不便であった島々では現地に植生する植物を非常によく利用し, 又, その有効性についての鋭い観察眼が今なお残存しているように思う。特に生活と密接な植物であったソテツ (*Cycas revoluta* Thunb.)<sup>(2)</sup> はその利用方法において広範なものがあつた。例えば防風垣として, また肥料木として畑の畔などに植栽し, その実は非常食として用い, 又, 味噌の原料にするという。一方, 生薬的には釘を踏みぬいた時に実の汁を塗布したり, 化膿止めに用いるなど充分に活用していることがわかる (恐らくサイカシンの如き物質が有効成分として含まれているものであろう)。また第一報にも概説しておいたが, イジュ (*Schima wallichii* ssp. *liukuensis* (Nak.) Bloemb.)<sup>(3)</sup> には白蟻防除成分が含まれており<sup>(4,5)</sup>, 建築材として利用されている一方魚毒植物としても用いられている<sup>(6)</sup>。この木はイタジイ林伐採後に多量に植生して森林を形成することなどから栽植最適地であり<sup>(7,8)</sup>, 又生活環境上材木として入手しやすいこととも関連しその利用効果は注目に値する。また, シャリンバイ (*Rhaphiolepis umbellata* Makino var.

*mertensii* Makino) は各島いずれにも見られる普通の植物であるが、実を食用にしたり、樹皮は大島紬の染料として<sup>(2)</sup> 今なお経済的にも重要な植物である。又、樹皮は魚毒としても用いられるなどその利用度は非常に大きい。更に本報告で重要な植物としてツルグミ (*Elaeagnus glabra* Thunb.) がある。グビギ、グビノキ、グビ、クビキなどと呼ばれ各家々ではその幹を1メートル位ずつ天井からつるして保存しており、必要に応じてけずって煎じて飲むという。その効用は結果にも記載したとおり多岐にわたっている。その他、サツマイモ、オオバコ、ヨモギ、ツワブキ、ホソバワダン、クワズイモ、ニラ、アロエ、ハマユウなどいずれも手近に存在する植物についてその利用性が若年層、老年層を問わず十分に伝承されていることは、この地域にいかにも民間生薬的知識が根をおろしているかを知るものである。また、ミヤビカンアオイ (*Asarum celsum* Maekawa) 一方名：ヤマコンブーは奄美大島名音でのみ聴聞されたものであるが、奄美岳にしか生育していないことを強調し、その有用性について綿々と語りきかせ、煎じて飲ませてくれた老婆の姿が印象的であった。

### 謝 辞

第二報をまとめるにあたり採集植物の同定を快く御指導下さいました。鹿児島大学農学部林学科、迫静男先生と、植物標本についての資料文献を提供して下さいました鹿児島大学教養部生物学教室、新敏夫博士に感謝いたすものであります。

### 文 献

- (1) 東 四郎, 阿部美紀子, 緒方信一, 飛田 洋, 横田和登 : 鹿児島大学理学部紀要 (生物・地学) **8**, 93-113 (1975).
- (2) 内藤 喬 : 鹿児島民俗植物記 (1964).
- (3) 内藤 喬 : 奄美大島有用植物誌, 南方産業科学研究所報告, **1** (3), 97-165, (1956).
- (4) 島木伸一, 小野寺幸之進 : 農化, **15**, 496-498 (1936).
- (5) 高橋利夫, 宮崎 信, 安江保民, 今村博之, 本田 収 : 木材学会誌, **9**, 59-62 (1962).
- (6) 初島信彦 : 奄美大島群島の植物相—海中公園センター調査報告・鹿児島県海中公園学術報告, 53-131 (1968).
- (7) 勝坂宣尚, 福井尚之 : 宇部短期大学琉球学術調査報告第2集, 95-100 (1967).
- (8) 福井尚之 : 宇部短期大学琉球学術調査報告第2集, 101-108 (1967).

初島任彦 : 琉球植物誌, 1-866 (1972).

津田喜典, 村田弘之, 塚越順子 : 昭和薬科大学紀要, 35-87 (1972).

本田正次, 佐藤達夫, 松田 修 : 日本植物方言集 (草本類篇) 日本植物友の会編, 八坂書房 (1972).

多和田真淳 : 沖縄薬草のききめ (1972).